

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

平成 31 年 4 月

計画の名称	22 酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備（防災・安全）							重点配分対象の該当				
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）							交付対象 酒田市				
計画の目標	橋梁の長寿命化修繕計画など、道路施設の計画的な補修を行い、今後老朽化する施設を適切に維持・修繕を行うことにより安全性を高め、中心市街地へのアクセス改善を行い観光施設等の賑わいを創出する。											
計画の成果目標（定量的指標）	橋梁長寿命化修繕計画における橋梁のうち修繕実施済み橋梁の割合を算出し、2.1%（H26当初）から12.8%（H30末）に増。 幹線道路舗装修繕計画における道路のうち修繕実施済み道路の割合を算出し、52.0%（H26当初）から73.1%（H30末）に増。 市の観光施設入込数について年間270万人を目標とする。											
定量的指標の定義及び算定式					定量的指標の現況値及び目標値			備考				
					当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)	・庄内北部定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A22-1, 2, 3				
	橋梁長寿命化修繕計画策定橋梁の修繕工事を進めることで、道路交通の安全性が確保される橋梁比率。				0.021	0.086	0.128					
	幹線道路舗装修繕計画の修繕工事を進めることで、道路交通の安全性が確保される道路比率。				0.52	0.695	0.731					
	市の観光施設入込数				270万人/年	270万人/年	270万人/年					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,438百万円	A	1,316百万円	B	—	C	122百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	8.1%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
関係各課による調整会議の開催	平成31年4月
	公表の方法
	酒田市公式ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用便 益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H26	H27	H28	H29	H30				
22-A1	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	(他)堤町両羽橋線ほか	舗装修繕（打換）L=9.13k	酒田市						394		未策定	
22-A2	道路	雪寒	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	(他)前川線ほか	防雪柵 L=0.96k	酒田市						197		—	
22-A3	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	(他)新橋東西線ほか	橋梁補修 N=20橋	酒田市						597		策定済	
22-A4	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	(1)十二滝線	法面对策 L=0.08k	酒田市						45		—	
22-A5	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	改築	(他)飛島灯台線	避難路改修 L=0.25k	酒田市						27		—	
22-A6	道路	一般	酒田市	直接	酒田市	市町村道	修繕	(他)大島田横代線ほか	舗装修繕（路上路盤再生）L=0.80k	酒田市						56		未策定	
合計																1,316		—	
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
										H26	H27	H28	H29	H30					
22-C3	計画・調査	一般	酒田市	直接	酒田市	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画	計画策定、橋梁点検	酒田市							81			
22-C4	防災	一般	酒田市	直接	酒田市	防災	飛島防災通信システム整備事業	防災情報通信整備	酒田市							41			
小計																122			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

II 定量的指標の達成状況	指標①(道路交通の安全性が確保される橋梁比率)	最終目標値	12.8%	目標値と実績値に差が出た要因	市単独事業においても、ほかの整備すべき路線の整備を進めたため。
		最終実績値	12.8%		
	指標②(道路交通の安全性が確保される道路比率)	最終目標値	73.1%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	70.8%		
	指標②(市の観光施設入込数)	最終目標値	270万人/年	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	282.5万人/年		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

--

(参考様式3) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	22 酒田市中心市街地へのアクセス改善と賑わいを創出する社会資本整備 (防災・安全)		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	酒田市

